

平和への願いを込めて

市は、平成17年に「非核・平和都市宣言」を行い、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を訴えています。

この宣言運動は世界中に広がり、日本でも約9割の自治体がこの非核宣言を行っています。また、今年7月7日に核兵器の開発や保有などを禁止する「核兵器禁止条約」が国際連合の会議で採択され、核兵器なき世界への第一歩となりました。

広島、長崎に原爆が投下され、今年8月で72年が経過します。被爆者や戦争体験者の高齢化により、原爆と戦争の記憶は次第に風化し、忘れ去られようとしています。

市では、この宣言を通して、次代を担う子どもたちへ平和の尊さを提唱していきたいと考えます。

宣言文をご一読いただき、地域や家庭などで核兵器のない世界の平和について話し合い、考えてみてください。

問 市総務課(米原庁舎)

☎ 5211552
FAX 5214447

非核・平和都市宣言

私たちのまち まいばらには
青い空と緑にはえる山々
清流のせせらぎ
みのり豊かな田園
母なるめぐみの湖(うみ)がある

まちかどや広場には
子どもたちの歓声が
若者たちの歌声が
軒先からは人々の
静かな語らいがきこえてくる

遠く海をこえた かなたにも
同じ人々のくらしと
しあわせがある

しかし 今
地球をおおう核の脅威は
あらゆる命のいとなみを破壊し
かけがえのない平和を
一瞬にして 奪いさろうとしている

私たちは 知っている
核兵器が
生きとし生けるもの
すべてを破壊しつくして
何も もたらさないことを

私たちは 知っている
すべての人間が手をつなぎ
平和な明日に向かって
力をよせあうことが
どんなに大切で
すばらしいかを

悲惨なヒロシマ ナガサキの体験から
核兵器を
「持たず 作らず 持ち込ませず」の
非核三原則を全世界に訴え
戦争の放棄 恒久の平和を誓った
平和憲法を
私たちは 守ります

人々の明日にとって
子どもたちの笑顔が
若者たちの明るい未来が
いきいきとした命のいとなみが
永遠に続くことを願っている

私たちは 訴えます
核を持つすべての国々に
すべての核兵器を 今 すてよ！と

この市民の声と 願いを
世界に広く訴えるため
ここに米原市は
「非核・平和都市」を宣言する

平成17年6月24日
米原市



市政言



平和への願いを込めた米原市の「非核・平和都市宣言」では「戦争の放棄 恒久の平和を誓った平和憲法を私たちは守ります」と宣言しています。

8月を迎え、私たちは人としての尊厳や自由が保障され、家族と共に生きている日々を、何気ない日常として過ごしています。市民の安心、安全を守るのは自治体の使命であり、根底には市民のみなさんの平和への願いや思いが原動力となっています。

終戦から72年が過ぎ、先の戦争を経験し、その悲しさを身をもって体験した人が少なくなった今、戦争の悲劇が風化しています。戦争をしない、平和に生きる、戦争の愚かさ、平和憲法の尊さを考えていく必要があるのではないのでしょうか。

米原市長 平尾道雄

米原市平和祈念式典を開催します

問 市 社会福祉課(山東庁舎) ☎55-8102 FAX 55-8130

平和への願いを広く訴え、戦没者の慰霊とともに恒久平和のまちづくりを願い開催します。

日 時 8月5日(土) 10時～

会 場 米原市民交流プラザ(ルッチプラザ)

内 容 黙とう・戦争に関する作文の朗読など

